

令和3年度 広陵中学校 学校経営計画（概要版）

1 昨年度の教育活動における調査結果から見える学校課題

(1) 教育課題

- ◆ 基礎学力、学習意欲の向上
- ◆ 基本的な生活習慣の育成
- ◆ コミュニケーション能力(読む・聞く・考える・話す・書く)、問題解決能力の育成
- ◆ 自分のすべきことに対して、ねばり強くやり抜く姿勢の育成
- ◆ サーバントリーダーシップ力の育成
- ◆ 自ら進んで挑戦する力の育成
- ◆ 将来の夢や希望をもち、自らの生き方を考える力の育成

(2) 経営課題

- 目標を共有し、組織として機能する教職員集団づくり
- 必要な資質・能力を身に付けさせる教育課程の実施と評価・改善
- 教師力を高める研修の実施（授業改善等）
- 小中・家庭・地域と連携した学校づくり（コミュニティ・スクール、地域学校協働活動等）
- 危機管理意識の高揚と機能的な体制づくり
- GIGAスクール構想の推進

2 今年度の重点目標

学校・地域・家庭が協働し、
知恵と**勇氣**と**優しさ**に満ちたあふれた学校経営の推進
～自己を律し、主体的に活動し、意欲的に学ぶ、心豊かな生徒の育成～



◇本校生徒に求められる資質・能力◇

<知恵>…課題を見つけ、解決の方法を考え、表現する力

- ・課題を発見する ・質問する ・多様なデータから必要な情報を収集する ・集めた情報を活用し、課題解決に取り組む ・筋道を立てて考える ・自分の考えを分かりやすく表現する
(読む・聞く:インプット) →考える→ (話す・書く:アウトプット)

<勇氣>…最後まであきらめないで、挑戦する力

- ・勇氣をもち、目標達成に向けて努力する ・積極的に挑戦する ・粘り強く取り組む ・最後までやり抜く

<優しさ>…思いやりの心を持ち、仲間と助け合い行動する力

- ・仲間と協力する ・明るい挨拶をする ・アサーティブな思考を心がける ・相手の立場で考え、思いやる
- ・サーバントリーダーシップを発揮する

◇推進事項◇

◇小中・地域との連携◇

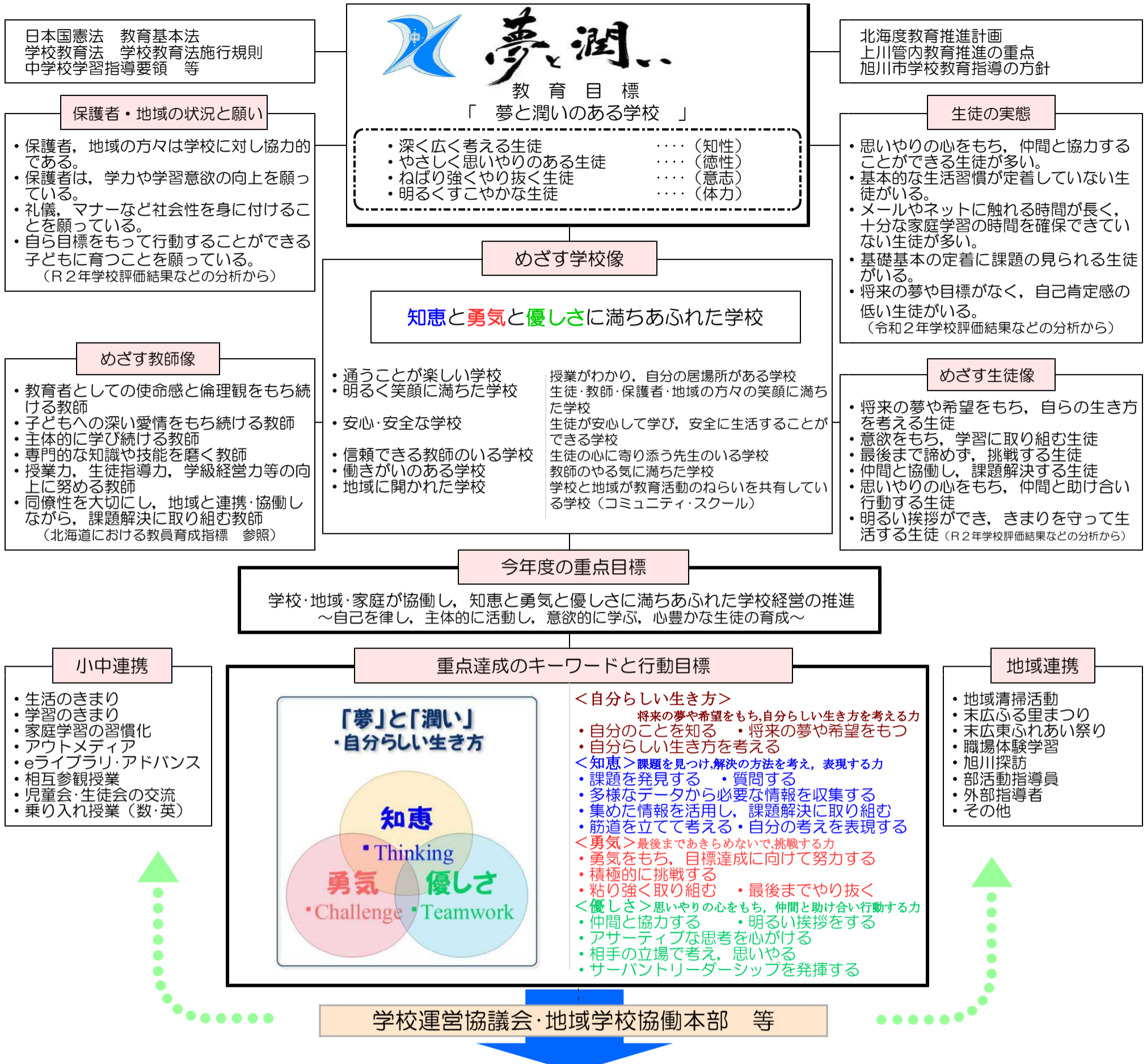
- 1 組織として機能する教職員集団づくり
 - ・業務の平坦化による教育の質の向上
- 2 学力向上の取組
 - ・家庭学習時間の増加 ・1人1台端末の活用
 - ・「広陵中10施策」の実施
- 3 迅速、丁寧、誠実な生徒指導
 - ・ゴールの共有化 ・生徒の心に寄り添う
- 4 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
 - ・「読む・聞く→考える→話す、書く」活動の重視
 - ・ICT機器を活用した授業の推進
- 5 キャリア教育の視点を意識した教育活動の充実
 - ・道徳、総合的な学習の時間、特別活動、各教科等
- 6 特別な配慮を要する生徒への対応
 - ・地域や関係機関との連携 ・1人1台端末の活用
- 7 ユニバーサルデザインの視点に立った特別支援教育
 - ・小学校、関係機関、保護者との密な連携
- 8 重点目標達成に向けた成果指標の意識
- 9 コミュニティスクール、地域学校協働活動の基盤づくり
- 10 新型コロナ対応等学校の危機管理体制の構築

- ### <小中連携>
- ・生活のきまり ・学習のきまり
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・アウトメディアガイドライン
 - ・eライブラリの活用
 - ・特別支援学級交流 ・乗り入れ授業
 - ・相互参観授業 ・児童会・生徒会の交流

- ### <地域連携>
- ・地域清掃活動 ・未広ふる里まつり
 - ・末広東ふれあい祭り ・職場体験学習
 - ・旭川探訪 ・部活動指導員
 - ・部活動指導員
 - ・外部指導者 ・その他



学校運営協議会
地域学校協働活動 等



- 【運営の重点】**
- 組織として機能する学校づくり
 - 校務の協働と機能化を図った教育活動の質の向上(働き方改革)
 - 学校運営に参画する意識を高める職場づくり
 - 明るく、笑顔に満ちた職員室
 - 働きがいのある職場
 - 学校職員人事評価制度の活用
 - 必要な資質・能力を身に付けさせる教育課程の実施と分析・改善
 - 指導目標と指導内容を明確にした年間指導計画の実施と分析・改善
 - 育むべき資質・能力がバランスよく組み込まれた教育活動の推進
 - 基礎基本を確実に定着させる学習活動の構築
 - 仲間と協働し、課題解決に取り組む力を育む教育活動の推進
 - 自分らしい生き方を考える力を育てるキャリア教育の推進
 - 基礎学力を定着させるための学習会の推進
 - 教師力を高める研修の充実
 - 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業研究の推進
 - 問題解決的な学習を基盤とした学習意欲を高める工夫
 - 「読む・聞く→考える→話す・書く」活動を取り入れた授業研究
 - 新学習指導要領実施に向けた研修(道徳、総合、特活、各教科等)
 - 学校の実態やニーズに応じた校内研修の推進(特別支援、いじめ、SNS、LGBTs、学級経営、非行事案等)
 - 専門教科分野への校外研修への積極的参加
 - ライフステージに応じた校外研修への積極的参加
 - 授業改善推進チームによる月1回の巡回指導(数学科)
 - ICT機器を活用した教育の推進(GIGAスクール構想)
 - 小中・家庭・地域と連携した学校づくり
 - 学校・地域・家庭における情報の共有化
 - H.P.、学校だより等の活用
 - 学校課題を解決するための学校評価の充実
 - C・S、地域学校協働本部等を活用した各種活動の推進
 - 小中9年間を見通した共通・連携の取組の推進
 - 危機管理意識の高揚と機動的な体制づくり(新型コロナウイルス対応含)
 - 初期対応の充実と連絡体制の強化
 - 法令遵守意識を高める心に響く取組の実施
 - 学校が臨時休業等になったときのマニュアルの整備

- 【指導の重点】**
- 確かな学力と学習意欲の向上を図る学習指導(広陵中10の施策)
 - 全国学力学習状況調査結果等の活用(分析と改善策)
 - 問題解決的な学習を基盤とした学習意欲を高める工夫
 - 「課題・見通し」「まとめ・振り返り」を明確にした授業の継続
 - 「わかった」「できた」を実感させる授業の推進
 - 「読む・聞く→考える→話す・書く」活動を取り入れた授業改善
 - 「定着問題」「宿題」などを位置づけた授業の実施
 - 各学年における家庭学習時間増加のための工夫
 - 1人1台端末の活用(一斉学習、個別学習、協働学習等)
 - 読書活動の推進
 - 外部講師の活用(大学生や地域の元教師を活用した放課後学習等)
 - 社会で生きる力を育む総合的な学習の時間
 - 自己理解、職業・労働観、将来のリスクへの対応等
 - 課題解決力、コミュニケーション能力を育む体験活動の充実
 - 生徒自らが考え、行動する力を育む特別活動
 - 全校生徒が主体的に活動する教育活動の充実
 - 希望と勇気を持ち、粘り強く取り組む態度を育てる道徳教育
 - 各学年に応じた価値項目を設定した「考え・議論する」道徳の実施
 - 明るい挨拶、気持ちのよい返事等ソーシャルスキルの育成
 - 生徒の心に寄り添い、共感し、自己実現を促す生徒指導
 - 指導のゴールを見据えた迅速・誠実な組織対応
 - 自己肯定感を高める取組の推進
 - 不登校傾向の子どもの居場所づくり
 - 将来の夢や希望を持ち、自分らしい生き方を考える進路指導
 - 「語る」「語らせる」「語り合わせる」教育相談の実施
 - 生徒一人ひとりの適性に合わせた進路指導の推進
 - 生徒の実態に応じた体育的行事、健康安全教育の推進
 - 体育祭、炊事遠足、薬物乱用防止教室、情報セキュリティ講座等
 - 新型コロナウイルス感染防止に対する取組の実施
 - 特別支援コーディネーターを中心に小中・関係機関と連携した特別支援教育
 - 支援を必要とする子どもに対するきめ細やかな対応の実施
 - 学年代表を中心とした組織的に機能する学年・学級経営
 - アサーティブ型の思考を基盤とした学級づくりの推進
 - 学習規律、生活のきまりの確実な定着(小中共通)